

公益財団法人 全国商業高等学校協会主催・文部科学省後援

第55回 ビジネス文書実務検定試験 (27. 11. 22)

第3級

速度部門問題

(制限時間10分)

試験委員の指示があるまで、下の事項を読みなさい。

〔書式設定〕

- a. 1行の文字数を30字に設定すること。
- b. プロポーショナルフォントは使用しないこと。

〔注意事項〕

1. ヘッダーに左寄せで受験級、試験場校名、受験番号を入力すること。
2. 問題のとおり、すべて全角文字で入力すること。
3. 長音は必ず長音記号を用いること。
4. 入力したものの訂正や、適語の選択などの操作は、制限時間内に行うこと。
5. 問題は、文の区切りに句読点を用いているが、句点に代えてピリオドを、読点に代えてコンマを使用することができる。ただし、句点とピリオド、あるいは、読点とコンマを混用することはできない。混用した場合はエラーとする。
6. 時間が余っても、問題文を繰り返し入力しないこと。

第55回 ビジネス文書実務検定試験 (27. 11. 22)

第3級 速度部門問題 (制限時間10分)

大学の学生食堂が、朝食を100円で提供する取り組みで話題と	30
なっている。朝食をとることで生活リズムを整えて、学業に専念し	60
てもらうために始まった。学校や後援会などが、費用の一部を補助	90
することによって実現している。	106
どのメニューも栄養のバランスが考えられており、充実したもの	136
となっている。数量や期間を限定するなど、学校により運営の形態	166
は異なる。一人暮らしや遠くから通学するために、朝食がとりにく	196
い学生たちにも好評である。	210
この取り組みによって、良い影響が出始めている。例えば、以前	240
よりも1時間目の授業への出席率が、上がったという報告もある。	270
これからも、充実した大学生活を過ごすための支援が、工夫されて	300
いくことを望みたい。	310